

華厨ちやんが
メイド服着て
エロいにと
してる本☆



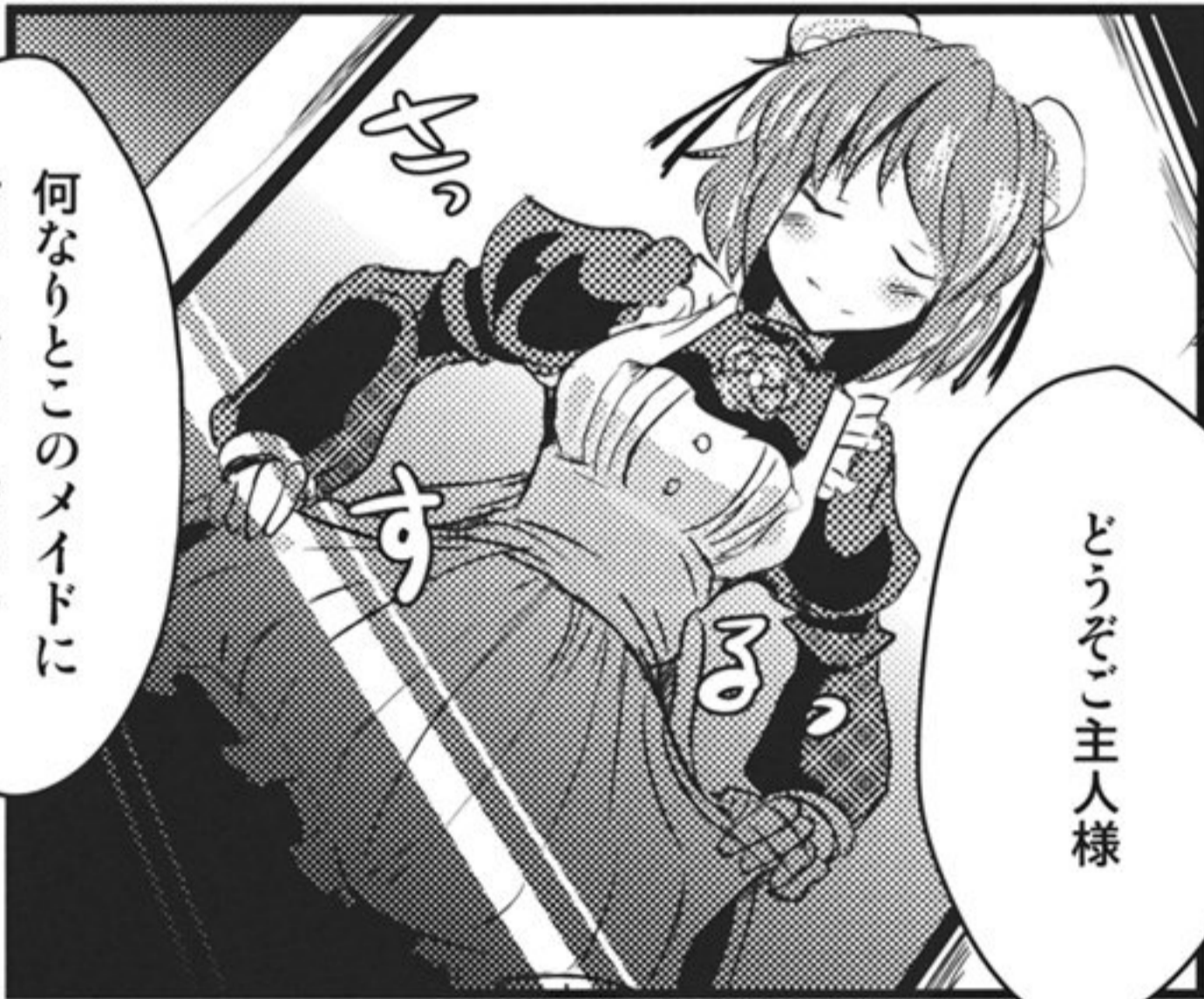
R-18
成人向け



ふーむ……
作業着に買った
ものだけど……



案外可愛い
じゃない？



どうぞご主人様

何なりとこのメイドに
お申し付けください



なあんて……

ねっ♪

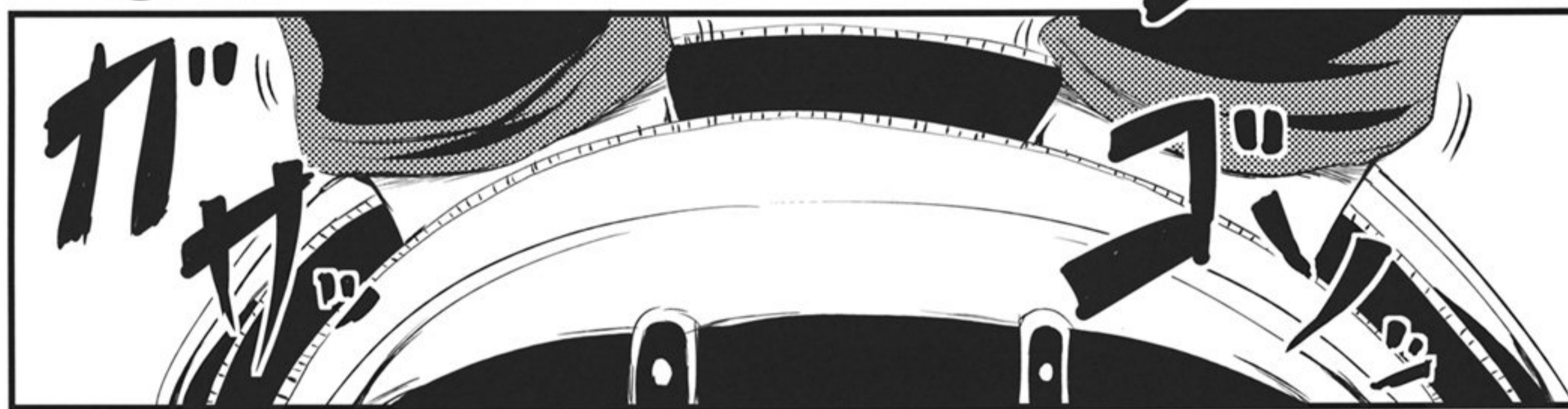


さて…掃除でも
するかしら…



なに…
これ？

え…



なに…
なんなのこれ!!

なに…なに
なに…なに

ジャラッ

グニッ



って言っ
いたけど……



ほら

裸で持って帰るのも
あれだろう？
これに入れるといい



いやいや
いやいや

さすがにそれは
ないわよね……



まさか最初から
コレは私に使うつもりで

渡してきたもの
だったりするの？



でもそうね……

アイツがやるなら
もっと凝るだろうし
多分こんな……



メイド服を使うという
 考えならきつと彼は
 こんな風に……



私が逆らい辛い
 状況を作り上げ

下着の中にこうやって
 あの道具を入れさせて
 私の対応を愉しむのだろう

それでも耐えていると
きっと先回りをして…



よくわかって
いるじゃないか

この……っ
卑怯者…

中々がんばって
いるじゃないか？



ダメだあぁあ
強すぎたあぁあ

キョ

ガッ

キョ

ガッ



さっきまでの威勢はどうしたんだ？

うるさー... この... ひんっ

スイッチを弄ったのは... 誰よっ...!

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



そうして意地悪く動けないところへスカートを持ち上げて...

さあね？
そんなことで行者が揺るぐとは思えないが

あゝあゝ

グッ
グッ

びびり
びびり

口で言うほど
こっちは大丈夫じゃ
ないみたいだね

そろそろ降参したら
どうかな？

ちーちがっ
あーっ

仕方ないな……
では最強に……と

だ……だれが……
お断りよ……っ!!

あああああ
あああああ

あああああ
あああああ

て。ジャカ
ジャカ





それじゃここからは
罰ゲームとしようか
取り決め通りにね

ブルル...

ふぁっ...

達したばかりで
否定もできない私に
いつも通り言うのだ

ブニッ
プニッ

……イッたか
いつも通り口だけ
達者だね君は

グガ...

グウウ...

オネ...

あ...
あ...



だというのに私は
彼の男根を入れられる
期待の方が大きく
なってきたー

おっ...お好きな
ように使って
愉しんでください

例え脅されても言えない
ような恥ずかしい台詞を
私は口に乗せてしまい...

そうして私は下着を
脱がされー罰ゲーム
と称して辱められる

ど...どうぞ
私のしまりのない
蕩けマンコを...

ピトッ

モ...

キ...

ピ...

プルッ

ふる...

ト...

ト...

では、言葉通り
やらせてもらう
かな――

先程までと違う
熱い感触に身体は
勝手に反応して

ズブズブズブ

あっ

随分あっさり
受け入れるように
なったね君は

根本まで入れられた
瞬間、頭の中まで繋がら
れたような感覚が来て

ズブズブズブ

ひゅあ

私はそれだけで
達してしまい

自分で蕩けマンコ
って言い出すくらい
だから当然かな？

揶揄する酷い言葉が
何故か快感の方に繋がり
嫌悪の感情も萎えて――

子宮の奥まで貫かれ
相手の「カタチ」にされて
しまうことへ抵抗も消え

たん、
たん、
たん、

あっ

ひゅあ

あつり
あま

彼の扱いは乱暴で
私の事を性欲の解消以外で
求めている気配はない

それなのにわざわざ屈服
させようとする矛盾
訳がわからない

ギョ
ギョ

ギョ
ギョ

か
か

ズ
ズ

あ
あ

ギョ
ギョ

ゴ
ゴ

ダ
ダ

夫

ズ
ズ

おんま
キ
キ

ただ、乱暴に扱われているのに
頭は快感で塗りつぶされる
私がある気でもあるのだろうか
だから拒否しきれないのか

か
か

か
か



あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

SUNEE

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない

あんなに
おかしな
こと
はない



華扇

ムクムク

子宮から溢れかえる
ほど注がれその熱さに
朦朧となり

身体はすっかりと
虜とされてしまい

…は…



ゴッ
ゴッ

ロ
ロ



ブルブル...

は...

すぐ...
しめす...

ボク

ガク

ガク

ボク

ガク



いつも通りに
掃除をするんだ

終わったならやる
ことがあるだろう？

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

次はどんな屈辱的な
ことを言われるのかと
僅かならず期待し

そうして私は身体の疼きに逆らいきれず言われるままに

ん…ふ…

ちゅろっ

ちゅろっ

ちゅろっ

ちゅろっ

ん…う…

精液と愛液の混じったものを口で掃除させられてしまう

自分で入れ直した玩具は再びスイッチが入って蠢き始めている

あ…う…

かん…ん…

先程出された精液と私の愛液をかき混ぜ、抱かれた熱を身体に覚えさせてくる

そうして私はまた膝をついて……

はぁっ♡

トオオ…

めろっ

こうして身体に教え込まれてしまうのだから——

ボム

ほ。わわわ

……って!!

みたいなの……

全ての元凶は
これなのよ!!

じまがくー!

どうしてこんな
あからさまな道具を
私に渡したのか

じっくりたつぷり
時間をかけて聞き出して

変な魂胆があつたら
人生を一度見つめ
直させないとね……

ゴゴゴ
ギギギ

END?

あとがき

ヤバドウ！ ヤバドウ！ ヤバドウ！
またいつもの締め切りに追われる
生活でヤバドウ！！

そんなわけで今回は
こんなカンジで華扇ちゃんに
メイド服装せてえっすい事を
したくなったという理由で
こんな本となりました。

ロングスカートメイド服の
華扇ちゃんは描いてみたら
案外似合うし作業着一つに
ちょっとした可愛らしさを
求めそうな彼女には良いセレクト
でないかと自画自賛をしています。

そして駄眼鏡の人は執事服を
着せてみると案外似合うので
いつか執事服が必要になる
仕事でもさせてみたく思うので
ありました。

では今回はこのへんで。
また次回お会いしましょう。
したらな！！

サークル矢本堂落書市代表 yamoto
HP:<http://www2.tok2.com/home/yamoto/>
PixivID:28886
印刷所:ねこのしっぽ様

悪気はなかった



東方Project Fan Book

Present by 矢本堂落書市

